

大学名 名古屋大学

表題 URA主体で大型共同研究体制をデザインする「探索型共同研究」の実践

■**産学連携に強みをもつURAの配置** 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部(以下、学術産連本部)は、アカデミアから行政/企業出身者まで、多様な背景をもつURAを配置し、基礎研究から産学官連携までを一貫体制で推進している。

●名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 <https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/>

特に、ものづくり企業が集積する東海地域に位置する本学において、産学連携の推進は大学経営や地域貢献等の観点から重点的に取り組むべき課題である。そこで学術産連本部では多彩な共同研究メニューを備え、企業経験豊富なURA等を擁して、企業ニーズを踏まえた産学連携の企画調整をおこなっている。

### ■「探索型共同研究」におけるURAの活躍

中でも「探索型共同研究」は、組織的共同研究のテーマ創出等をURAが主体的にデザインするメニューであり、企業と学術産連本部が直接共同研究契約を結んで実施する。本共同研究を入口として、より大型の「指定共同研究」等へステップアップすることを目指すもので、URAに対する企業からの信頼があってこそ成り立つ共同研究と言える。(図1)

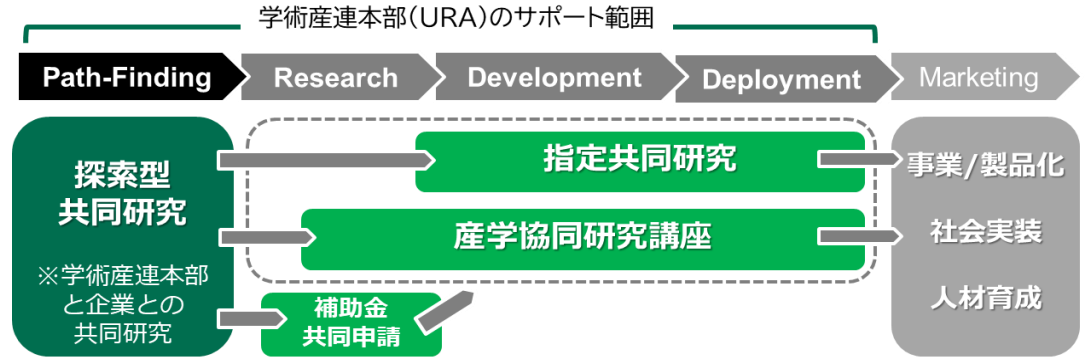


図1:産学連携スキームにおける「探索型共同研究」の位置づけ

探索型共同研究においてURAは、研究領域の提案、研究分野の整合性や教員のモチベーション等も考慮した参画教員の探索、候補教員との面談マッチング、新規大型共同研究創出への企画調整等を、主体的に遂行する。(図2) その進行には、企業と教員双方の立場を尊重しつつ、大学全体の利益を実現する調整力と企画力が求められ、URAの粘り強い対応と高い専門性が発揮されている。

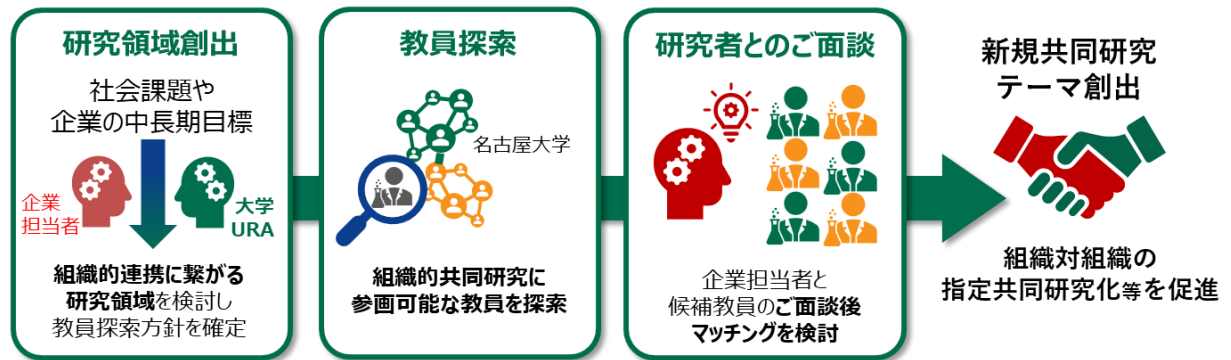


図2:「探索型共同研究」の進行例